

スペシャルナビゲーターのいきものがかり・
山下穂尊さんが語るフェスの魅力



長岡に初めて来たのは6年前、アオーレ長岡のこけら落としのコンサートです。記憶に残るイベントに参加させていただき光栄でした。米百俵フェスは、花火を打ち上げる全国でも珍しいフェスです。地元のおいしい食べ物も提供して、食と花火と音楽が楽しめる、これまでにないフェスになると思います。

音楽を聞きながら芝生で休んだり、遊んだり、そういう過ごし方ができるのも魅力。ステージは一つなので、みんなが同じものを見られるという一体感も生まれると思います。せっかくの機会なので、絶対来たほうがいいと思っていきます。我がまちでやるんだというワクワク感をかみしめながら、楽しんでほしいですね。

山下さんはフェスに向け、長岡の歴史や、文化、食を学ぶため、市内各地を巡っています



長岡花火情報室（アオーレ長岡シアター内）で長岡花火を学ぶ

7/17(火)
～28(土)
のみ販売

今だけ!! 市民限定割引チケットを販売します!

- 【料金】()内は通常前売り料金
- 1日券 大人6,300円 (6,800円)
中・高校生3,000円 (3,500円)
 - 2日券 大人11,000円 (12,000円)
中・高校生4,500円 (5,000円)
- ※市内在住者が対象
※小学生以下は無料。保護者(20歳以上)1人につき、2人まで入場可
- 【販売場所(市民限定割引チケットのみ)】
- ・ローソンチケット(インターネットで申し込み後、ローソン店頭にて発券)
 - ・アオーレ長岡シアター(午前9時～午後6時)
- ※チケットは随時、プレイガイドで販売中です(上記以外は通常前売り料金です)
☎キョードー北陸チケットセンター ☎025・245・5100

アーティスト第2弾&出演日を発表!

◀裏表紙をご覧ください

続報!



長岡米百俵フェス

花火と食と音楽と

10/6土・7日

会場: 東山ファミリーランド

米百俵フェス 検索

詳しくは米百俵フェスホームページで

☎025・2361

花火を打ち上げるこれまでにないフェス
みんな絶対来たほうがいい!

米百俵フェスには
駐車場がありません

必ず下記のシャトルバス(有料)をご利用ください

- 【自家用車の場合】 南部工業団地駐車場から、シャトルバスで30分
- 【JR・バスの場合】 長岡駅東口8番線バス停から、シャトルバスで20分
☎JTBトラベルデスク ☎0570・002・287
(平日午前10時～午後5時)

飲食出店者を募集します

対象=県内の企業、飲食店、移動販売車など
申し込み=7月27日(金)までに米百俵フェスホームページにある申込書を郵送、メールで
☎NPO法人ネットワーク・フェニックス ☎44・1067

NaDeC BASEで
学生×企業×起業 始まる

☎025・2402



市内3大学1高専と企業の交流の場「NaDeC BASE」が6月2日、旧大和長岡ビル1階にオープンしました(今月の表紙、写真①)。オープンから1カ月、大学の授業(写真②)や起業塾などが行われ、コワーキングスペースの利用も始まりました。今後は各校の研究発表や作品展示、起業支援セミナー、学生と企業とのIoT利活用の検討会、プログラミング教室などの開催が予定されています。

成果を再開発に活かす
この施設の一帯では、5年後から段階的に完成を目指して大手通坂之上町地区の市街地再開発事業が進んでいます。その中で市が整備する人づくり・産業振興の拠点「米百俵プレイス(仮称)」で展開する機能や取り組みの一部を、NaDeC BASEで先行実施しています。今後、さまざまな事業を行い、産学官金の連携を深めていきます。

自由な発想で、挑戦する場
共同研究や起業塾も

6月16日 トークイベント
ここから始まる長岡の未来

渋谷 修太さん
フラー(株)代表取締役CEO
(長岡高専出身)



私が起業したのは高専で大切な仲間と出会い夢を語り合ったからこそ。ここで刺激を受け、「俺もできそう」と起業が身近になったらいいと思います。長岡の10年後が楽しみです。

本田 杉子さん SEから始
パナソニック(株)プロダクトデザイナー
(長岡造形大学出身)



今は商品だけでなくサービスを提供する時代。日々現場の声から本質をつかみ、開発に活かしています。学生時代にこのような場所がほしかったですね。仲間とのつながりを大切にしたいと思います。

山井 太さん
㈱スノーピーク代表取締役社長



学生と産業界、起業家の交流拠点。この要素がそろえば、何か起こらないはずはない。学生には好奇心を持って、まだ誰もやったことのない領域を目指してほしいです。

磯田 市長



思いや目標があれば、それが行動となり、チャレンジすることができる。長岡が「挑戦できるまち」になるよう、行政や産業界・経済界も連携してサポートします。

長岡出身の起業家・デザイナーと県内有数の事業家、磯田市長の4人が、産業界の未来、この地域の可能性、学生に期待することなどを語り、会場が熱い空気に包まれました(写真③)。